

杵築市立図書館 図書館だより

2021年5月

図書館の夕べ

新型コロナウイルスと演奏感染症

～リコーダーと鍵盤ハーモニカのアンサンブル～
拡大の影響により

夜の図書館で、数種類のリコーダーと鍵盤ハーモニカによるハーモニーをお楽しみください（要事前申込）。

日時：2021年5月 8:30～11:30（開場18:15）
場所：杵築市立図書館（本館）知識の広場
定員：先着25名（保護者同伴）
参加費：無料
申込期間：5月1日（土）～5月20日（木）
申込方法：本館カウンターまたはTEL0978-62-4362でお申し込みください。

中止

図書館カレンダー

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■ 休館日

※大田図書室は 火土日曜・祝日が休室

※開館時間は各館でご確認ください

杵築市立図書館 TEL0978-62-4362

山香図書室 TEL0977-75-1055

大田図書室 TEL0978-52-3111

感染症の拡大状況によっては、臨時休館等サービスを変更する可能性があります。最新情報は、ウェブサイトでご確認ください

5月の大型連休の開館について

5月3日（月）～5月5日（水）は本館のみ開館（9時～17時）します。

※5月6日（木）は休館です。

今月の新着本

※児童書は裏面をご覧ください。

- ### 【杵築市立図書館】
- 『「生きがい」と出会うために』（若松英輔著／NHK出版）
 - 『みんなの津波避難22のルール』（永野海著／合同出版）
 - 『APD〈聴覚情報処理障害〉がわかる本』（小淵千絵監修／講談社）
 - 『たたら製鉄の技術論』（永田和宏著／アグネ技術センター）
 - 『だいじょうぶ、絵本があります』（安藤宣子著／海鳥社）
 - 『13 ハンセン病療養所からの言葉』（石井正則著／トランスビュー）
 - 『白鳥とコウモリ』（東野圭吾著／幻冬舎）
 - 『沙林』（帯木蓬生著／新潮社）
 - 『ドキュメント1』（湊かなえ著／KADOKAWA）
 - 『南紀殺人事件』（内田康夫著／光文社）
 - 『初詣で』（佐伯泰英著／文藝春秋）
 - 『こころの散歩』（五木寛之著／新潮社）
 - 『小福ときどき災難』（群ようこ著／集英社）
 - 『断絶』（リン・マー著／白水社）
 - 『泡』（松家仁之著／集英社）
- ほか

- ### 【山香図書室】
- 『複眼人1』（呉明益著／KADOKAWA）
 - 『「在宅死」という選択』（中村明澄著／大和書房）
 - 『なごり雪』（新堂冬樹著／KADOKAWA）

- ### 【大田図書室】
- 『はじめてのキャンプ』（JTBパブリッシング）

東日本大震災10年 被災地図書館 震災アーカイブ企画展 杵築巡回展

東日本大震災の被災地にある図書館では、震災の教訓を後世に引き継ぐため、震災の記録を収集・保存しており、今年、震災資料の書架を写したポスター展示が開催されました。

杵築市立図書館では、被災地図書館が作成したポスターをお借りして杵築巡回展を開催します。

期間：2021年5月12日（水）～5月31日（月）
展示場所：杵築市立図書館（本館）「知識の広場」

5月の特集

ここ最近の 文学賞受賞作品

芥川賞・直木賞・本屋大賞など、文学賞には多くの賞や受賞作があります。読みそびれた作品や、もう一度読みたい作品はありませんか？

『蜜蜂と遠雷』

（恩田陸著／幻冬舎）

2016年下半期の第156回直木賞、2017年第14回本屋大賞。

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。



『かか』

（宇佐見りん著／河出書房新社）

2019年第56回文藝賞、2020年第33回三島由紀夫賞。

私（浪人生）の大好きな母親＝かかは、離婚を機に徐々に心を病んでいった。自分を縛るすべてが恨めしい私は、ある無謀な祈りを抱え、熊野へと旅立つ。



『あの家に暮らす四人の女』

（三浦しをん著／中央公論新社）

2015年第32回織田作之助賞。

謎の老人の活躍としくじり。ストーリー男の闖入。いつしか重なりあう生者と死者の声。古びた洋館に住む四人の日常は、今日も豊かにかしましい。現代版「細雪」。



このほかにもたくさんのお本をご用意しています